

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(香川県 平成29年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
				計画時 (平成25年)	1年後 (平成27年)	2年後 (平成28年)	3年後 (平成29年)	目標値 (平成29年)	達成率			計画時 (平成25年)	1年後 (平成27年)	2年後 (平成28年)	3年後 (平成29年)	目標値 (平成29年)	達成率			交付金	都道府県費	市町村費	その他					
坂出市	香川県農業協同組合	野菜 (レタス)	レタス10アール当たりの販売額を15.9%増加	577,610円/10a 販売額 288,805千円/作付面積50ha	509,314円/10a 販売額 241,924千円/作付面積48ha	477,561円/10a 販売額 226,842千円/作付面積48ha	564,529円/10a 販売額 256,296千円/作付面積45ha	669,840円/10a 販売額 502,380千円/作付面積75ha	-14.2%	レタス10アール当たりの販売額が2.3%減少した。	ブロッコリーの秀品L階級の割合を15.6ポイント増加	62.7% 秀品L級 870 t / 出荷量 1,386t	67.0% 秀品L級 1,430 t / 出荷量 2,135t	63.5% 秀品L級 1,521 t / 出荷量 2,394t	65.0% 秀品L級 1,059 t / 出荷量 1,628t	78.3% 秀品L級 1,480 t / 出荷量 1,890t	14.7% ブロッコリーの秀品L階級の割合が2.3ポイント増加した	集出荷貯蔵施設 建物 1357.63m ² 予冷庫 144m ² 製氷機 1基2t 調整包装施設 4ライン	200,880,000	93,000,000	0	18,600,000	89,280,000	平成28年3月28日	レタスの10アール当たりの販売金額が目標数値を下回った原因は、10月の2度の台風により、根の生育障害を受けた影響と、その後の寒波の影響(11月～2月)により収量が減少したためである。 ブロッコリーの秀品L階級の割合が目標値を下回った原因は、9月～10月の3度の台風により、定植遅れと悪害による根の生育障害を受けた影響と、その後の寒波の影響により、株が大きくなり、収穫した圃場の大きさが多かったためである。 今後は、初期生育促進のための水分管理と排水対策、早期畝立て、有機物の導入による土づくり、保温資材の利用推進に取り組み、品質及び販売額等の向上を図る。	レタスは、台風及び寒波の影響を例年以上に受け、収量が減少し、10アール当たりの販売金額は目標数値を下回っている。 ブロッコリーは、台風及び寒波の影響により、秀品L階級品の割合が目標に達していないが、L階級に次ぐ秀品M階級の割合は増加している。 今後は、初期生育促進のための水分管理と排水対策、早期畝立て、有機物の導入による土づくり、保温資材の利用推進に取り組み、品質及び販売額等の向上が図られるよう指導していく。		
三豊市	香川県農業協同組合	果樹 (桃、ブドウ、柿、キウイフルーツ)	当該品目の全栽培面積に占めるブランド品の割合を21.5ポイント増加	53.8% ブランド品栽培面積 4,483a 全栽培面積 8,318a	53.6% ブランド品栽培面積 4,685a 全栽培面積 8,736a	74.6% ブランド品栽培面積 6,539a 全栽培面積 8,757a	75.3% ブランド品栽培面積 6,572a 全栽培面積 8,718a	75.3% ブランド品栽培面積 6,268a 全栽培面積 8,318a	100.0%	全栽培面積に占めるブランド品の割合が21.5ポイント増加した	果樹 (桃、ブドウ、柿、キウイフルーツ) 当該品目の全出荷量に占めるブランド品の割合を15.8ポイント増加	35.7% 契約 出荷量 211t 全出荷量 590t	29.2% 契約 出荷量 150t 全出荷量 513t	47.9% 契約 出荷量 218t 全出荷量 455t	73.5% 契約 出荷量 348t 全出荷量 473t	51.5% 契約 出荷量 340t 全出荷量 660t	239.2% 全出荷量に占める契約取引の割合が37.8ポイント増加した	集出荷貯蔵施設 ・定温保管施設 1棟192m ² ・非破壊式選果機 ・バケット式選果機1条 ・予冷庫 1式 (年間処理量660 t)	94,608,000	43,800,000	0	0	50,808,000	平成28年3月29日	選果場の再編・統合及び集出荷貯蔵施設の効率的な活用により、ブランド品の出荷が増大するなど成果目標は達成された。 しかし、全出荷量が目標値を下回っている。 この原因として、①改植等による未収益園地の増大及び②異常気象等による成園化の遅延が挙げられる。 今後は、引き続きブランド品の栽培面積の割合と契約出荷の割合を維持しつつ、未収益園地の早期成園化を推進するとともに、台風や高温過水等の異常気象により、著しく樹勢が低下した園地については、重点的な巡回指導や管理講習会等の指導を実施し、目標出荷量を達成する計画である。	ブランド品の作付け拡大及び実需者との契約出荷が増大するなど成果目標は達成された。 しかし、改植等による未収益園地の増大と異常気象等による成園化の遅延により出荷量が目標に達していないことから、引き続きブランド品の栽培面積の割合と契約出荷の割合を維持しつつ、出荷量の増加について指導する計画である。		

都道府県平均達成率	85%	総合所見	実施事業2件のうち、1件は成果目標を2つとも達成できたが、1件は気象災害の影響により2つの成果目標とも未達となった。今後は、目標の達成に向け、引き続き指導を行う。
-----------	-----	------	---

(注) 1 別紙様式1号の2の1に準じて作成すること。
2 要綱第3の4の(2)のアのただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。